

第131回（平成20年度第6回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成20年11月12日(水) 19:00～21:50
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館4階第4研修室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事： (副会長)野地 澄雄、山田 隆、佐藤 嘉彦
(専務理事)片 忠夫
(常務理事)三塚 康雄、上田 英之、木村 徳善 菊地 富士夫
(理事)徳本 進、金子 理人、安藤 努、国島みどり、百海 廷、
岡本 洋一、清水 忠、岡田 良平、小池 光、斎藤 幸雄、
平賀 淳夫、吉岡 去私
欠席理事： (会長)河野 洋平
(理事)荻野 恭宏、吉野 大成、大澤 康之
4. 出席監事： 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 岡本 洋一理事、平賀 淳夫理事を選出
7. 書 記： 筑田 則和広報委員を指名
8. 議 事

開 会 山田副会長が開会の挨拶を述べた。

1) 競技本部関係(配布資料：競技本部第131回理事会)

(1) 報告事項

菊地本部長より、次の通り報告があり、了承された。

モデル事業・マニュアル目次決定

別紙参照

競技本部セミナー

開催日：11月8日(土) 10:00～14:00

講師：中村実彦 SAJ 技術委員長、斎藤幸雄 BSC サッカー監督、環境問題

参加者：28名

競技本部拡大専門委員会

開催日：11月8日(土) 15:30～16:45

参加者：18名

(2) 審議事項

‘08-‘09シーズンのジュニア指定選手追加について

菊地本部長より、08-09シーズン・ジュニア指定選手3名の追加について提案がなされ、承認された。今後は、提出忘れや漏れを無くす事を考えたらどうかまたは、提出期限を決めてみてはどうだろうかとの意見交換がなされ、来年度からは、提出期限を決めて事情があつて遅れる場合は理事会に諮ることとなった。

平成20年度競技力向上合同会議宿泊研修会旅費について

菊地本部長より、平成20年度競技力向上合同会議宿泊研修会旅費について提案がなされ、承認された。期日：12月6日～7日、場所：箱根湯本「ホテル南風荘」

片専務からは定例化されていないので予算化できないが、今後は競技本部の予算として組む事、県

連の通常出張費扱いとする。県体協から出る金額は、一度県連へ納入し、旅費・交通費と参加費は分けて県連の規定に沿って支出することの指示があった。

トキめき新潟国体スノーボード・モーグル競技(デモスポ)選手派遣について

菊地本部長より、トキめき新潟国体スノーボード・モーグル競技(デモスポ)選手の派遣についての提案がなされ、参加は承認された。

モーグル・ボードとも選考会は、行わない。

トキめき新潟国体スノーボード・モーグル監督2名派遣旅費について

菊地本部長より、トキめき新潟国体スノーボード・モーグル監督2名派遣旅費(90000円)についての提案がなされ、承認されたが、予算については再提案となった。

大会名称変更について

菊地本部長より、チャレンジカップ第1戦の大会名称変更について提案がなされ、承認された。

変更前 チャレンジカップ第1戦鹿沢大会

変更後 チャレンジカップ第1戦キャタピラー東日本大会

協賛企業への、連絡がうまく取れていない不手際があり、色々な問題が起きた為、問題の起きた企業へは、再度お願いに行く。

2) 教育本部関係(配布資料:第131回理事会資料)

(1) 報告事項

木村本部長より、次のとおり報告があり、了承された。

指導者研修会・理論 11月2日(日) 川崎市教育文化会館

指導者養成講習会・理論(第1回) 11月8日(土) 横浜市従会館

SAJ全国安対委員長会議 11月8日(土) 岸記念体育館

スノーボード委員会会議 11月6日(木) かながわ県民センター

南関東ブロック研修会 10月31日(金) 中野ゼロホール

南関東ブロックスノーボード技術選手権大会(担当者)会議

10月29日(水) 八重洲ブックセンター

今後の行事予定について

イ) オフトレーニング 11月15日(土)~16日(日)

ロ) 教育部会 11月18日(火)

ハ) 指導員養成理論(2回目) 11月22日(土)

ニ) SAJデモンストレーター合宿 11月24日(月)~26日(水)

ホ) 全国スノーボード技術員研修会 11月26日(水)~27日(木)

ヘ) 南関東ブロック研修会実技 11月29日(土)~30日(日)

ト) 全国パトロール技術研修会 11月29日(土)~30日(日)

チ) SAJ コーディネーションコース 11月22日(土)~24日(月)

(2) 審議事項

スノーボード指導者規定第13条 第25条特別合格による指導者資格推薦について

木村本部長より、スノーボード指導者規定第13条、第25条の規定による特別合格指導者資格推薦について、2名の追加提案がなされ、承認された。

追加推薦者: 鈴木 武(スズキ タケシ) スノーヴァ溝の口-R246

亀井 慶三(カメイ ケイゾウ) 川崎スノーボードクラブ

来シーズンの指導員研修会理論開催・クリニック理論開催について

木村本部長より、来シーズンの指導員研修会理論・クリニック理論開催期日及び会場について、11月1日の抽選結果により2009年11月14日(土)川崎市教育文化会館を予約できたとの提案がなされ、承認された。

来シーズンの南関東ブロック研修会理論開催について(都連依頼)

木村本部長より、来シーズンの南関ブロック研修会理論開催について（都連依頼）2009年10月25日（日）の予定との提案がなされたが、報告事項として了承された。

S A J 専門員について

木村本部長より、第129回理事会（9月7日開催）にてS A Jからの定数見直し指示により、柳橋・金子専門員の申請を取り下げる審議事項提案をし、承認された。しかし、10月中旬にS A Jより追加登録の通達があり柳橋氏、金子氏を再登録する予定との説明があり、承認された。

現在、S A Jから委嘱状が届いていない状態であり、最終確認ができていないとの報告があった。

日本体育協会公認スポーツ指導員資格の復活について

木村本部長より、日本体育協会公認スポーツ指導員資格の復活について、根本孝夫氏より期限切れのため復活の申請依頼があった。本人申請で加盟団体の承認が必要。書類は、すべて整っているため承認して日本体育協会へ提出したいとの提案がなされ、承認された。

3) 総務本部関係（配布資料：第131回理事会資料）

(1) 報告事項

慶弔関係 なし

資金運用状況（別紙資料参照）

上田総務本部長より、10月末預金残高が24,375,855円であるとの報告があり、了承された。

登録状況（別紙資料参照）

荻野理事より、今年度登録時期の前倒しを行い8月20日から登録作業を開始したが、10月末現在5,132人、245団体が登録を行っているとの報告があり、了承された。

各種委員会

イ) 電子申込委員会

徳本理事より、S A K主催行事を公開済み（11月より）との報告があり、了承された。

ロ) 普及振興委員会

吉野理事より、来年1月の小学校始業式付近で、教育委員会経由で小学校へ資料配布予定との報告があり、了承された。

ハ) 協賛会員拡大委員会

荻野理事より、ホワイトワールド尾瀬岩鞍様5万円新規協賛との報告があり、了承された。

片専務から協賛状況を知りたく、協賛一覧リストを次回理事会までに準備することになった。

ニ) ハンディキャップ委員会

国島理事より、10月24日第4回委員会開催、11月2日研修会にて資料配布と協賛金のお願い（27件46,000円）の報告があり、了承された。

ホ) 北海道委員会

吉野理事より、7日（金）現在 A 9名、AR - 22名、B - 38名、BR - 11名、C - 26名、CT - 26名、計132名、（前年度同期、220名）との報告があり、了承された。

ヘ) ウエアー委員会

吉野理事より、発注状況76名分発注、開始が遅かったため南関東行事には、間に合わないとの報告があり、了承された。

広報委員会（別紙資料参照）

安藤理事より、S A Kだよりのアンケート集計結果の報告があり、了承された。

実施：11月2日、1,000枚配布 回収23.6%

70周年記念行事実行委員会報告について

片専務より、のちほど審議事項終了後にフリートークとして行なうこととした。

大会保険について

国島理事より、各本部の行事名・期日・参加人数（見込み）を来週末（21日）までに提出して頂くように要請があり、了承された。

北海道行事の参加者について

片専務理事より、北海道行事の参加者減少について、一考する必要がある。何かの手立てをしなければ今後減少が進む恐れがある。参加者の状況によっては、役員体制の見直しも考えなければならない。各クラブへの参加依頼及び準指受験者にも声をかけることの要請があった。

会員登録について

上田本部長より、会員登録について、次の理事会には登録済みとしていないクラブのリストを出してはどうだろうか？ 総数は、100名前後の減少であるが、今後追加登録が出る可能性がある。一例として、川崎は約10クラブ位が未登録で約60名前後いるとの報告がされた。

(2) 審議事項

研修費用免除願いについて(別紙資料参照)

荻野理事より、研修会費用免除願い申請のあった4名(横浜2、小田原1、厚木1)について免除の理由を付して提案がなされ、承認された。

S A K 専門員追加承認について

上田本部長より、各専門委員の追加推薦について提案がなされ、承認された。

HC 久山知恵(横浜) 広報 山下てるみ(川崎) 佐久間容子(川崎) 松坂武士(川崎) 副会長、専務、常務、総務の行事参加について(別紙資料参照)

上田本部長より、行事参加についての調整依頼の提案がなされ、一部訂正があり、承認された。

70周年記念行事について(フリートーク)

片専務より、70周年記念行事について、フリートーク形式で行なわれ、下記の意見・要望が提案され、実行委員会で検討していくことで承認された。

・70周年記念行事の基本構想

参加者目標：800名 予算：700万円程度(積立金、来年度にて500万円)

加盟団体に参加依頼と取りまとめを依頼する(横浜は、各団体に依頼したらどうか?)

60周年のときは、無料参加者が多すぎたので、70周年では、全員有料にしたい。

今後の行事においては、必ず『70周年記念行事』を挨拶の中に入れ込む事。

4) 監事意見

(1) プレ監査の実施について

内海監事より、今年度もプレ監査を別紙資料の通り5回行なうことの提案がなされ、承認された。

閉 会 野地副会長が閉会のあいさつを述べた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成20年 11月 26日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印